

# 環境学習みえ

2018年7月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行  
表紙の人／井上誠二さん（左） 2018 No.73

夏

子どもと地域の環（わ）を育む  
～仕掛ける～



# 子どもと地域の環(わ)を育む ～仕掛ける～



(高校生による書道パフォーマンス)



大人は若者を応援します。若者のためならば地域も動きます。  
地域は若者たちというエネルギーで繋がっていきまわります。

今回は、大瀬古町子供と地域の環を育む会 会長の井上誠二さんの活動をご紹介します。

## 四日市公害が残したものの

### よそ者の視点

四日市は公害のまち、海は  
どんなに汚れているのだろうか。

転勤族の井上さんは、

井上さんは仕事柄、何度も転勤を経験しています。タイへの転勤、滋賀への転勤、そして四日市に赴任することになった時、四日市は一番行きたくない町だったと言います。四日市は公害のイメージが強く、井上さんの子どもたちも拒否反応を示していました。

ところが四日市に引越してきてから、どんなに海が汚れているのかと思いき、出かけて行った海辺で釣り人と話をしていたら、「アカウミガメが来るんですよ」と。

この言葉にびっくりし、吉崎海岸の清掃に参加するようになりました。まず、娘がこの活動に夢中になりました。「四日市、悪くないじゃん」と。

「地域でむずかしいのは、この地にずっと住んでいこうと思うと、トラブルがあっても、こんなところで嫌われたくないと、防衛本能が働くこと。私にとっては全然知らないところなので、もめても構いませんでした。提案したことを一時は反対されても、周りの賛成の声に押されて、成功したこともあります。よそ者の視点と地域の人たちが少しずつ歩みよることで、他の地区の良いところを真似したり、みんなで一緒にやっていると、雰囲気をつくっていくのだと思います。よそ者の強さで、例えばは良くないですが、犬猿の仲といわれる犬とも猿とも仲良くできるのです。」

そして、その活動を引っ張っていくリーダーを増やしていきたいのです。けれども、なかなかリーダーが育っていないのが現状です。」と、話してくれました。

そんな井上さんの高校生を巻き込んだ活動をご紹介します。

#### 【お話を伺った人】



「大瀬古町子供と地域の環を育む会」会長

井上 誠二 さん

ゴム加工会社に勤めながら、休日は、地域に根付いた子ども達の体験イベントなど企画・運営

日永地区社会福祉協議会 理事などを兼務  
2015年 第4回みえ環境大賞受賞



# 四日市あすなるろう鉄道を応援しよう！

(応援プロジェクト)

2013年頃、近鉄内部線廃線の話が出てきました。

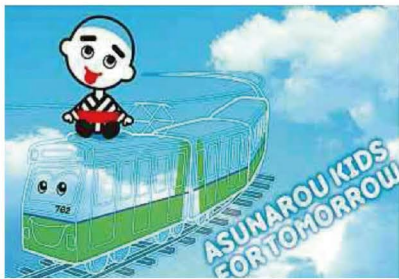
近鉄は、採算か不採算かで、このインフラを廃止しようとしていました。この先高齢化により車が運転できなくなることや、そもそも子どもなどの交通弱者のことを考えていないような話でした。

## 存続から持続可能な発展へ

そこで、子どもたちを巻き込んだ内部線の存続活動を開始しました。

沿線で手を振る、沿線に花を植えるなど、大人だと3人もいればできてしまうことを、20人ほどの子どもたちの手で仕上げていきます。重いものや危ないものは大人が少し手伝うけれど、土を運んだり、花を植えたり、花の大切さや生きる力を伝えるため、いろいろなことを体験させました。

この活動の中で、子どもたちが「電車に乗ろう」というイベントを企画し、実際に電車に乗ってみました。「一緒に来た保護者が手出しすることは断り、まずは子どもたちにお金を持たせ、切符を買うところからのスタートですが、1年目は大人に教え



られていた子どもが、次の年には他の子どもに教える立場になっていきます。

日永駅から乗って、西日野駅で降り、「日永梅林・登城山」を復活させる会が支援している南部丘陵公園に続く道を歩きます。南部丘陵公園近くで畑を借りて、3月には子どもたちがじゃがいもの苗を植え、6月に芋掘りを楽しみます。そこでカレーを作って、みんなで食べるのが小さな旅の流れです。

電車に乗ることだけではなく、地域の中でこんなに動ける場所、楽しめることを子どもたちに知ってほしいと願っています。

当初は、存続のための応援だったものが、四日市あすなるろう鉄道として再スタートした今は、持続発展させるための応援に変わりました。

## あすへのナローキッズ 四日市あすなるろう鉄道 スタンプリナー

平成30年2月10日～3月4日  
実行委員会・四日市工業高校 西郷高校・  
農芸高校、海星高校 生徒・市民団体

## バレンタイン列車

この企画は4年続いています。バレンタインデーに合わせて高校生を中心に、電車の中で「フェアトレード」のチョコレートを無料配布しました。この時、まだ子どもたちは「フェアトレード」を知りませんでした。

高校生たちは、2月には全く知らなかった「フェアトレード」を一生懸命勉強し、3月末には四日市のエコパートナー交流会での発表をやり遂げました。地域の方々がこの高校生の頑張りに賛同し、ホワイトデーにクッキーを届けにくれたことを追記しておきます。

四日市あすなるろう鉄道バレンタイン列車から降りた人たちを次の会場、南部丘陵公園の梅林まつりに誘います。梅林まつりの子どもコーナー「大きなキャンバスに絵を描こう」では、四郷高校の生徒が書道パフォーマンスをし、音楽や歓声とともに、若い力がはじけます。高校生が地域のためのイベントを企画し、準備も運営もします。これ



こそが次世代の育成になります。まずは、理由を作って電車に乗ることから、電車の存在を知ってもらい、良さを見直してもらう活動を進めています。





## 日永つんつくおどり

2020年の発祥400年祭を前に、今年も四日市市指定無形民俗文化財の「日永つんつくおどり」が開催されました。この伝統文化は、かつて川幅が狭く大雨に弱かった四日市を流れる天白川の堤防を築く、地固めのために村人が参加した時の踊りが始まりと言われています。

この郷土の伝統的なまつりを、近隣の高校生たちが盛り上げています。始まる前に、リーダーの先生を中心に陣を組む姿は頼もしい限りです。

日永小学校では、児童に「つんつく踊りを教えています。今回参加の1000人近い高校生も、当日までに踊りをマスターして、踊りの列に参加しました。大きな声で場を盛り上げる素晴らしい力を持った高校生たちでした。この「つんつくおどり」にも井上さんと共に活動する高校生が企画して、出展しています。

## 日永つんつくおどり保存会 木村さんにお聞きしました。

たくさん的高校生と一緒に踊り、出展していることを、どのように感じていますか。



「若い高校生たちが入ってくると地域が盛り上がりがあります。地域の保存会や、お世話をして下さる方が高齢化していますので、若い力が入ってくると、自分たちも若がえりますし、気持ちが高華やいでも楽しいです。」

総おどりでは、近くに住む人々、衣装も工夫しての参加、つんつく踊り保存会のみなさん、そして高校生が混じり、何重もの輪を作つて踊りました。



高校生が、住んでいるだけの場所から、活動する場へと思いを広げ、地域に

息衝く人々の生活や慣習から学ぶ機会や伝統行事に打ち解けて参加していく仕掛人が井上さんなのです。

40〜50年ほど前までは町内の各地で盆踊りが行われており、浴衣さえ持つていけば、毎日どこかの踊りに参加できました。祭りや盆踊りは楽しみであり、地域の人と顔と顔を合わせる大事な場所だったと言えます。



## 遊び♪♪

こどもたちは遊びが大好きです。けれども強制されるとその時点で遊びではなくなります。

次の企画は、ダンボールで居場所作りをし、そこに泊まる計画をしています。災害時に体育館などで必要となるプライベート空間づくりを体験します。差し迫った状況ではないときに体験することで、いざという時に役立つてほしいのです。

つんつくまつりなどの出展時準備中に、発電機の使い方などを学生たちに教え、必ず自分で試させているのも、災害の時に生きる力、生き抜く力を遊びながらも学び覚えてほしいからです。



## 気づいた

井上さんと一緒に活動する、四郷高校三年生の打田さんが話してくれました。

「近鉄内部・八王子線が廃線危機のときに写真を撮る人が多く、なぜこの電車がすごいのかと不思議に思ったのがきっかけで、四日市あすなろう鉄道と関わってきました。ナローゲージが有名ですが、1年を通して運行しているナローゲージの鉄道が日本に2つしかないということを知り、それが自分の町に、目の前にあるということを嬉しく思いました。そして、みんなに伝えていきたいと思いました。」

井上さんと活動してきて、高校生が町の役に立てるとするのが嬉しかったです。高校生でも頑張つていかなければと思つたし、もっと活動しなくてはと思っています。



### ミニ知識:ナローゲージ

日本の鉄道の線路幅は3つあります。

JR新幹線や近鉄は1,435mm、JR在来線などは1,067mm、あすなろう鉄道はそれより狭い762mmで、ナローゲージ(特殊狭軌)と呼ばれます。日本に3つしかないナローゲージの鉄道が三重県には2つあります。あすなろう鉄道と三岐鉄道北勢線で、どちらの鉄道とも、廃線の危機を乗り越えてきました。地域の住民が存続のために努力し、イベント列車の企画などで盛り上げています。

みなさんも、ナローゲージ鉄道の小さな旅に出かけませんか。

ほら、車窓から、大きな井上さんと小さな子どもたちの手を振る姿が見えるかもしれませんよ!



これからも、井上さんが蒔いた種から、子どもと地域の環がますます大きく育ち、若い力と地域がうまく融合していくとでしよう。

写真・資料提供 井上誠二さん

## メッセージ

もっと遊んでほしい! 何か行動してほしい!

結果を考えてしまい、もうそれは出来ないと言いが早く、チャレンジ意欲のない子どもたちに、結果を決め付けず、まず、やってみて幾つかの選択肢があることを知ってほしいです。

経験値の少ない子どもたちには、経験する機会が必要です。自然の怖さを感じたり、不便さを感じて工夫したり、何でだろうと、すぐに答えの出ない思いをして欲しいです。

そもうひとつ、人間関係の中の経験。話をしなければ、誰にも自分の思いは伝わりません。

いろいろな体験を大切にして、地域を活性する若い力を引き出していく井上さん。

自らを「よそ者」と言いますが、井上さんの活動からは、自分が住むこのまちを地域の人と一緒に良くしたいという思いを強く感じます。



# トピックス みえ



「こどもエコクラブ全国フェスティバル2018」  
が開催されました

毎年、全国のこどもエコクラブが作成した壁新聞や絵日記の応募作品をもとに審査が行われ、「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に参加する各都道府県の代表クラブが決定します。2017年度は、三重県で6クラブ9枚の応募があり、特別賞の「エコマーク賞」を受賞した「明和イオンチアーズクラブ」が三重県代表として選ばれました。

2018年3月25日(日)、日本科学未来館(東京都江東区)にて開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル2018」には、全国から集まったクラブのメンバーやサポーター、コーディネーターやこどもエコクラブを応援してくれる企業・団体の方々、またOB・OGの「A-1 Japan Youth Ecoclub」など総勢466名が参加しました。

「明和イオンチアーズクラブ」のみなさんは、活動発表やクラブ同士で取材を行い、全国の仲間たちとの交流を楽しみました。



「ごみ・リサイクル」をテーマに活動したことを発表しました。



授賞式では、賞状と副賞とが授与されました。おめでとうございます!

<受賞作品>



三重県の壁新聞応募作品は、センター展示ホールに展示をしています。

☆こどもエコクラブとは、  
幼児(3歳)から高校生までなら誰でも結成・参加できる環境活動のクラブです。

詳しくは、 <http://www.j-ecoclub.jp/>



## 平成30年度 三重県地球温暖化防止啓発 ポスターコンクール

～考えよう! 地球の未来～

地球温暖化がこのまま進むと、生態系への影響だけでなく、異常気象による水不足や農作物への被害など、私たちの生活への深刻な影響が心配されます。

身近な視点から地球温暖化防止にむけてメッセージを発信し、より多くの方に関心を高めてもらうために、小・中学生のみなさんを対象にポスター作品を募集します。

**【募集締切】平成30年 9月19日(水) 必着**

**対象** 三重県内小学校・中学校の児童・生徒

**テーマ**  
☆地球温暖化についてわかったこと、考えたこと  
☆地球温暖化を食い止めるために家庭でできること  
☆再生可能エネルギーについてわかったこと、考えたこと  
などのテーマを選び、絵と言葉で表現してください。



平成29年度  
小学生の部 最優秀賞



平成29年度  
中学生の部 最優秀賞

**最優秀賞**  
小学生の部・中学生の部 各1点  
賞状と副賞(図書カード3,000円)

**優秀賞** 小学生の部・中学生の部 各2点  
賞状と副賞(図書カード1,000円)

**佳作** 小学生の部・中学生の部 各5点  
賞状と副賞(図書カード500円)

**参加記念品** 参加者(作品を描いた児童・生徒)全員に贈呈します。

主催/三重県環境学習情報センター 後援/三重県教育委員会



## 秋のキッズエコフェア

～環境について楽しく学ぶ2日間～

**日時** 9月29日(土)・30日(日) 10:00～15:00 (雨天決行)

**会場** 三重県環境学習情報センター(四日市市桜町3684-11)

**入場** 入場無料 ※飲食や一部ブースは有料

9月29日(土)

「かんきょうクイズ」、「星たまごプラネタリウム」の上映を行ないます。また、四日市少年自然の家星の広場に出展予定です。

9月30日(日)

自然エネルギー発電体験や、木を使った工作など県内で活動する環境活動団体が多数出展します。飲食ブースも出展します。

**同日開催!**「秋のワクワクふれあいまつり」

センター近隣の四日市スポーツランド、四日市市ふれあい牧場、四日市市少年自然の家も同日にイベントを開催!スタンプラリーや、各施設をつなぐ無料ループバスも運行します。

詳しくは、[wakufureブログ](http://wakufure.sblo.jp/) <http://wakufure.sblo.jp/>

平成30年度

## 環境学習ポイント制度

三重県環境学習情報センターの主催講座(大人向け)に参加すると1講座につきにつき1ポイントがもらえます。

※連続講座の場合は1日につき1ポイント。

ポイント対象講座

2018年3月1日～2019年2月28日

ポイント申請締切

2019年3月15日

申請方法

10ポイント貯まったら、

その場で図書カードをお渡しします。

講座受付のセンタースタッフにお申し出ください。

プレゼントの引き換えは、  
おひとり様1回/年 限りです。

※ポイントの把握は自己管理でお願いしています。  
※ご不明な点はお問い合わせください。

## ▼大人のおそべるたいむ

対象  
16歳以上

材料費300円/事前申込必要

時間:13:30～15:00  
人数:先着10人

**申込方法**

各開催日の3ヶ月前より受付。  
詳しくはお問い合わせください。

12/5 水

### 紙すきで手作り年賀状

牛乳パックをリサイクルして紙すきをします。オリジナルのはがきで新年のご挨拶はいかがでしょう。



2/6 水

### 箸袋作り

たまねぎの皮で染めた優しい色の布で箸袋を作ります。マイ箸やマイスプーンを入れてお出かけしましょう



## ▼おそべるたいむ

対象  
どなたでも

参加無料/申込不要

日時:毎月第2日曜日10:00～11:30  
人数:先着15人

10/14 日

### 紙コプター

牛乳パックとストローを使って作ります。ストローを両方の手のひらではさみ右手を強く押し出すと回って飛びます!コツをつかんで高くとばそう!



11/11 日

### 葉っぱあそび

初夏には黄緑色をしていた葉っぱが赤や黄色に色づいたよ!野外で葉っぱを集めてしおりや飾りを作ろう。

※雨天の場合は事前に用意した葉っぱを使って、室内で遊びます。



12/9 日

### つるつるペンダント作り

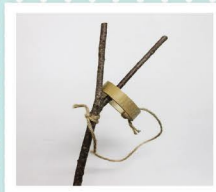
木をみがいて私へのプレゼントを作ろう。自分で作って自分でメンテナンスして長く大事に使おうね。



1/13 日

### 竹の輪のけん玉

輪切りにした竹と木の枝を使ってけん玉を作ります。作るの簡単だけど、竹の輪を上手に枝にひっかけられるかな?



2/10 日

### 木あそび

木の手ざわりやにおい、わかりますか。木の感触を楽しみながら、切ったり、削ったり、絵をかいたりするよ!



3/10 日

### お楽しみ

# 三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・申込方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

**PICK UP** 環境講座はお近くでも開催できます

学校の先生の場合	地域活動団体の場合	自治体の場合
スキルアップなどに 利用ください。	メンバーの環境教育 やスキルアップなどに ご利用ください。	市町での環境活動を 増やすキッカケ作り にご利用ください。

環境講座は出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください。

## 指導者養成講座 しぜん工作の先生マスターコース

中南勢会場 10月8日(月・祝)  
伊賀会場 11月3日(土・祝)

会場	中南勢会場 松阪市森林公園(松阪市) 伊賀会場 上野森林公園(伊賀市)	締切	各回開催日の 2週間前
内容	工作のねらいや工作体験についてみなさんと一緒に考えます。 また、作ってみて、工夫やアイデアを出し合います。		

## 環境講座 エコぞうウォーク ～センター周辺の自然を探検しよう～

③9月2日(日) ④11月11日(日)

会場	③④三重県環境学習情報センター (四日市市)	締切	③8月7日(火) ④10月16日(火)
内容	③夏から秋に見られる昆虫や、実ってきた木の実や草の種などを探して 歩きます。春とは違う自然を楽しみましょう。 ④紅葉を楽しみながら、センターの周辺を歩きます。木の実を探したり、 冬を迎える植物の冬支度などを見ましょう。		

## 指導者養成講座 NACS-J自然観察指導員講習会

11月23日(金・祝)～24日(土)

会場	四日市市少年自然の家 (四日市市)	締切	8月1日(水)～10月20日(土) 先着順
内容	自然の見方、自然保護の考え方、自然観察の手法を学びます。自然の楽し さ・不思議さ・感動を伝え、自然とのつきあい方を考える自然観察会の担 い手を養成する講習会です。		

## こども環境講座 科学のびっくり箱! なぜなにレクチャー「手作りハイブリットカー」

10月7日(日)  
第1回 10:00～12:00 第2回 13:30～15:30

会場	四日市公害と環境未来館(四日市市)	締切	9月7日(金)
内容	「エコカー」ってどんなもの? ハイブリットカーを手作りします。		

## 指導者養成講座 野鳥案内人講座(基礎・冬)

12月8日(土)

会場	三重県上野森林公園(伊賀市)	締切	11月13日(火)
内容	野鳥を通して自然界のつながりや人との関わり、生物多様性の大切さを伝 えられる人、節度ある観察会を実施できる人を養成する講座です。◇会場付 近の野鳥の基礎知識 ◇野鳥の観察 ◇双眼鏡や望遠鏡の使い方 ◇野外実		

## こども環境講座 どんぐりカレンダー作り

11月4日(日)

会場	三重県民の森(菟野町)	締切	10月9日(火)
内容	どんぐりには、様々な種類があります。実際に三重県民の森で、どんぐりの 実や殻の違い、葉っぱの形の違いについて観察したあと、カレンダーを制 作します。		

## スキルアップ講座 生態学シリーズ「共存と絶滅」

①9月8日(土) ②12月1日(土)

会場	①②三重県総合博物館(津市)	締切	①8月10日(金) ②11月6日(火)
内容	①共存と共生 — この似て非なるもの— ②地域個体群の消滅と種の絶滅 — メタ個体群—		

## スキルアップ講座 生物多様性シリーズ 「田んぼが育む生きものと人のにぎわいを守る取組」

10月20日(土)

会場	三重県総合文化センター(津市)	締切	10月15日(月) 先着順
内容	◇滋賀県で取り組んでいる「魚のゆりかご水田」について ◇圃場(ほじょう)整備事業での環境配慮施設の紹介(魚溜り、環境配慮型 合流柵、小動物用スロープ、など)とその効果についての検証結果など。		

## 講座・イベント

## 開催時期

大人のトヨタエコカー講座 11月23日(金・祝)

第2回 キャタリストフォーラム 12月22日(土)

環境講座 冬のバードウォッチング 1月13日(日)

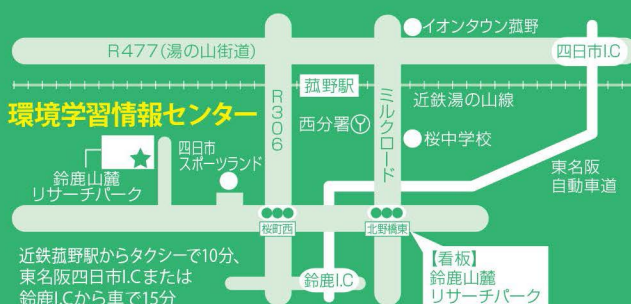
指導者養成講座 野鳥案内人講座(基礎・早春) 3月3日(日)

※「先着順」以外はすべて抽選となります。各講座の詳細につきましては、お問い合わせください。

## 三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel (059) 329-2000  
Fax (059) 329-2909  
Mail info@eco-mie.com  
HP <http://www.eco-mie.com/>  
休館日 年末年始(12月29日～1月3日)  
開館時間 午前9時～午後5時30分  
入館料 無料 ※お気軽にお越しください



Facebook @eco\_zou

講座予定